

〇〇大学 御中

第〇次中期計画の成功に向けて ～討議資料～

*一部抜粋

201〇年1月〇〇日(〇)

株式会社シンクベース

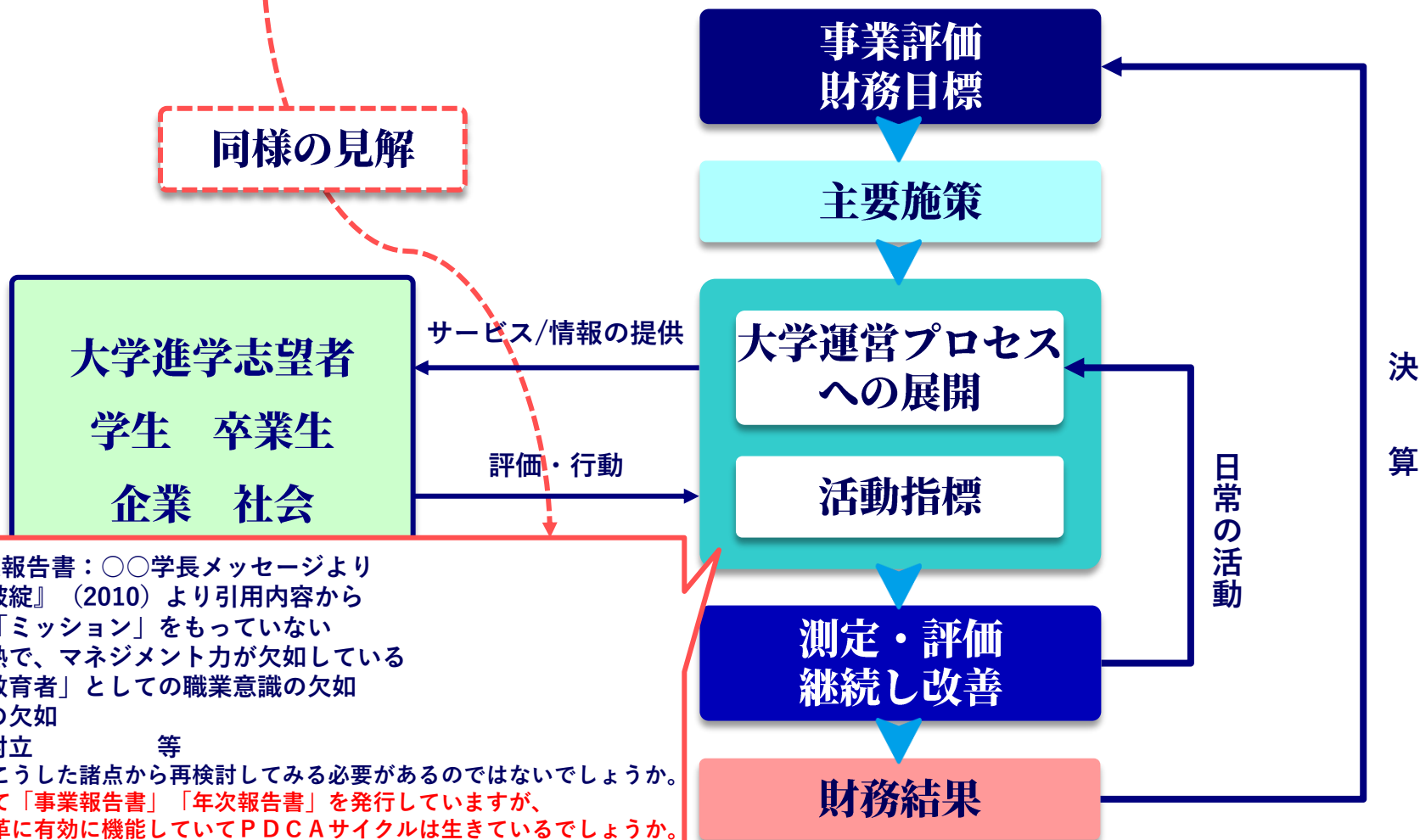
【1】 計画が成功する為の3要素

計画が成功する為の3要素

$$\text{良い計画} = \overset{(*要素1)}{\text{計画の記述}} + \overset{(*要素2)}{\text{計画の想定}} + \overset{(*要素3)}{\text{計画の管理}}$$

- ▶ 測定(*2)できなければ管理(*3)できない
- ▶ 記述したもの(*1)でなければ測定(*2)できない

【2】 企業でのPDC A活動モデルと大学運営、施策の定量化目標を設定し、個人の活動レベル迄、ブレイクダウンする



貴学2010年事業報告書：〇〇学長メッセージより
諸星裕著『大学破綻』（2010）より引用内容から

- ・大学が独自の「ミッション」をもっていない
- ・大学経営が未熟で、マネジメント力が欠如している
- ・大学教員の「教育者」としての職業意識の欠如
- ・職員の専門性の欠如
- ・教員と職員の対立 等

本学においても、こうした諸点から再検討してみる必要があるのではないのでしょうか。
また、毎年こうして「事業報告書」「年次報告書」を発行していますが、
はたして大学の改革に有効に機能していてPDC Aサイクルは生きているのでしょうか。

【3】 ○○大学グランドデザイン～201○年度のかたち

「市民としての良識とたくましい実践力を備えた、世の中で活躍し貢献する多彩な「職業人」を育成し、「つながる力○○」の大学をめざす。

I. 【大学のかたち】 ☆ 未来につながる都市型複合大学 ☆

- ✓ 社会の変化に柔軟に対応できる学部教育組織を編成する
- ✓ 高度専門職業人の育成を重視し、大学院を充実する
- ✓ 多様な社会人向けプログラムを提供する
- ✓ 魅力あるキャンパスを整備し、情報ネットワークを充実する

「つながる力○○」の具体性
例) 対外的にわかりやすい
イメージできる数値目標、等
「職業人」の育成を数値化
・他大学の例
Webサイトより
「○○大学が就職に強い5つの理由」

II. 【教育のかたち】 ☆ 社会つながる「多彩な職業人」を育てる大学 ☆

活動指標の具体化・定義・イメージ
できる数値目標、等
例) ・「職業人」育成率
・「就職者」決定率

- ✓ 「職業人」としての必要な力が身につくカリキュラムを充実する
- ✓ 学習支援を強化し、教育力を向上する
- ✓ 学生生活をきめ細かに支援し、課外活動を強化する
- ✓ 入試制度を一層改善し、広報活動を効果的に展開する
- ✓ 充実したキャリアサポートにより「就職に強い大学」としての結果を出す
- ✓ 学部教育の特色ある展開を図る
- ✓ 研究科教育の特色ある展開を図る

III. 【研究と社会貢献のかたち】 ☆ 地域・企業・世界とつながる大学 ☆

- ✓ 研究環境を整備し、研究活動を推進する
- ✓ 地域や企業との連携を強化し、社会に貢献する
- ✓ 国際交流を推進し、学びの国際化を図る
- ✓ 大学間交流を推進し、学びの連携を図る

IV. 【大学運営のかたち】 ☆ 全構成員がつながる強い大学 ☆

- ✓ 教職員が生き生きと働く環境を整備する
- ✓ 安定した大学運営を行い、ユニバーシティ・ガバナンスを強化する
- ✓ 財務基盤を強化する
- ✓ 卒業生・在学生・教職員が一体となった「○○大ファミリー」を形成する

【4】 第〇次中期計画の主要施策>>201〇年度事業報告書より

財務	主要施策/施策	活動目標	責任者	活動スケジュール		
				2013	2018	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">財務目標</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">財務結果 全国平均値との比較により評価</div>	I.教育のかたち～社会とつながる「多彩な職業人」を育てる大学 I.1 「職業人」としての必要な力が身につくカリキュラムの充実 I.2 学習支援の強化と教育力の向上 I.3 学生生活のきめ細かな支援と課外活動の強化 I.4 入試広報活動の効果的展開 I.5 キャリアサポートによる「就職に強い大学」づくり I.6 学部および大学院教育の特色ある展開	ゼミ所属率100% 多人数講義の解消 進路把握率100% 就職内定率100% 授業評価		→		
	II.大学のかたち～未来につながる都市型複合大学 II.1 社会の変化に柔軟に対応できる学部教育組織の編成 II.2 高度専門職業人の育成を重視した大学院の充実 II.3 多様な社会人向けプログラムの提供 II.4 魅力あるキャンパス整備と情報ネットワークの充実		1. 主要施策に対しての活動目標が定義され本学全体で意思統一がなされ進捗管理がなされているか？ 2. 活動目標の活動指標化がなされているか？出来る限り数値化で定義する。 3. 責任者の明確化			
	III.研究と社会貢献のかたち～地域・企業・世界とつながる大学 III.1 研究環境の整備と研究活動の推進 III.2 地域や企業との連携強化と社会貢献 III.3 学びの国際化 III.4 学びの連携				→	
	IV. 大学運営のかたち～全構成員がつながる強い大学 ●〇〇大ファミリーの交流 ●UI教育の実施 ●財務基盤の強化				→	

【11】活動指標の現状と目標値例

目標値については、貴学の経営戦略上での「あるべき姿」で考えた数値目標の設定と考えます。
 (尚、設定する場合の判断材料の提供はご支援可能です。)

財務指標 (KGI)		活動指標 (KPI)		現状(20〇〇)	目標例(201〇)		
消費収支	帰属収入	学生生徒等納付金	在学学生数	収容定員率	125.3%	---.0%	
				退学率	3.0%	-.0%	
				留年率	4.0%	-.0%	
				卒業率	71.2%	---.0%	
				歩留率	56.5%	---.0%	
				ゼミ所属率	---	---.0%	
				授業満足度	---	---	
				外部評価	233/548	---/548	
				手数料	志願者数	8.94倍	---倍
					志願倍率		
	消費支出	管理経費	広報・宣伝コミュニケーション	志願者当たりの募集経費	---	---	
			キャリア支援	進路把握率	---	---.0%	
				就職率	67.9%	---.0%	
				キャリアサポート満足度	---	---	
			学生サービス	学生サービス満足度	---	---	
人件費	事務職員数 契約職員数	必要事務職スキルの充足率	---	---.0%			
		必要教員スキルの充足率	---	---.0%			
	専任教員数 非常勤講師数	学生100人当たりの教員数	2.0人	---人			
		多人数講義の解消	---	---			

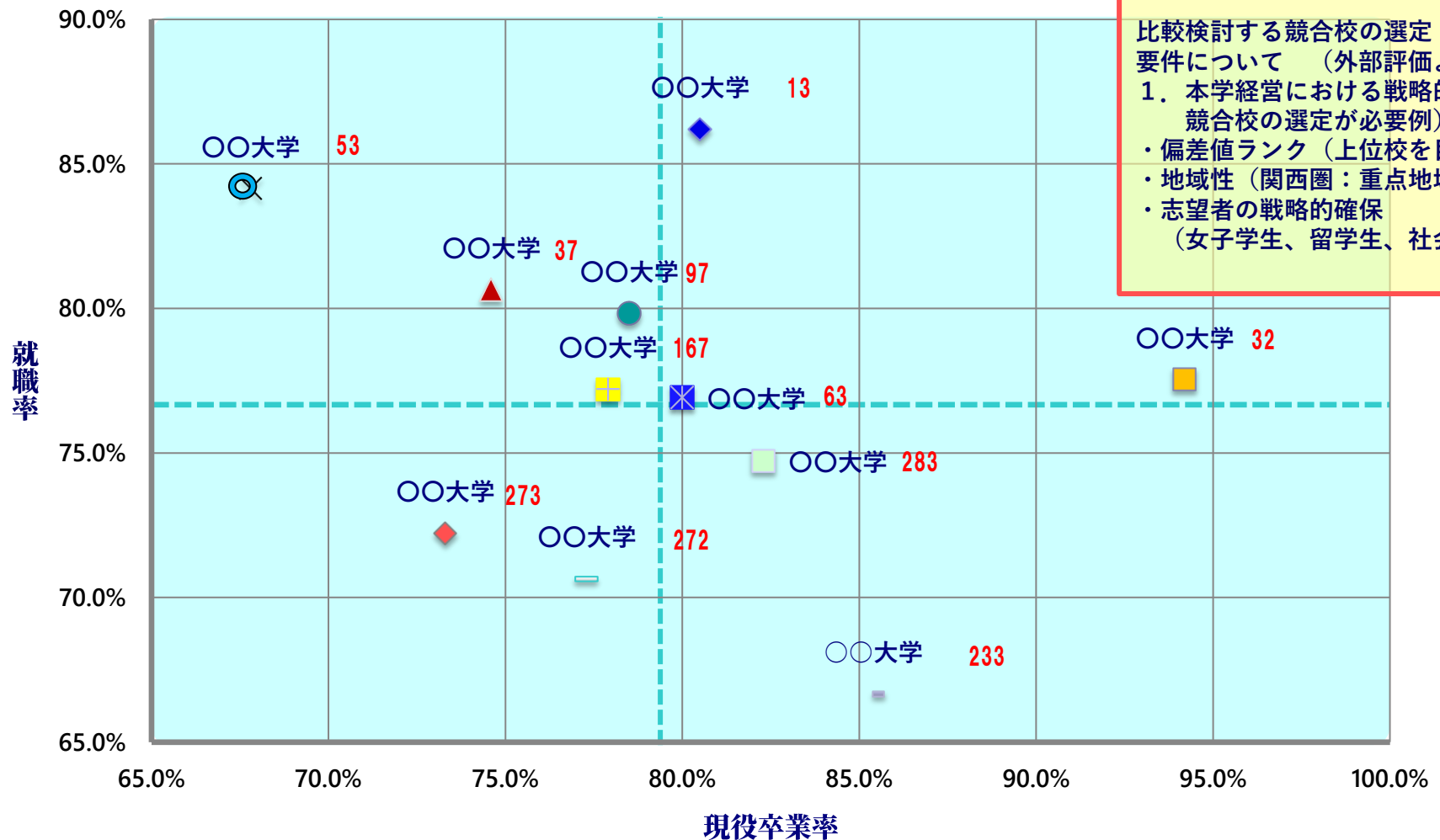
財務指標は、全国平均値と格付け

【12】 ○○大学の外部評価

就職に強い大学ランキング 548校:週刊ダイヤモンド

201○/12/00号

○○大学は現役での卒業はできるが、就職に弱い大学



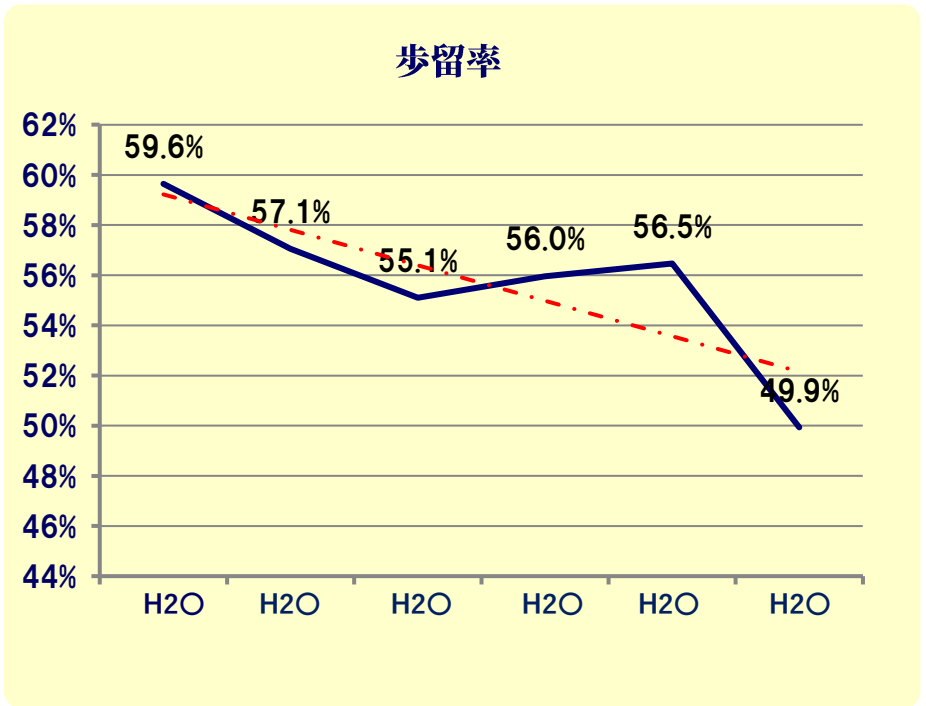
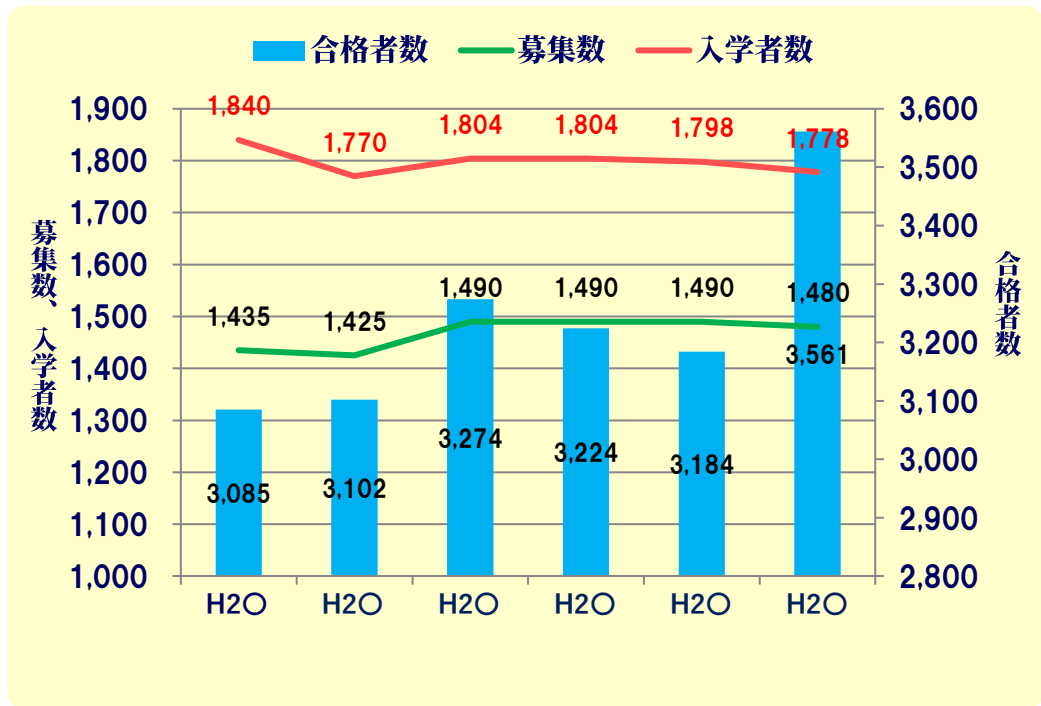
比較検討する競合校の選定要件について (外部評価より)

1. 本学経営における戦略的な視点での競合校の選定が必要例

- ・ 偏差値ランク (上位校を目標)
- ・ 地域性 (関西圏: 重点地域)
- ・ 志望者の戦略的確保 (女子学生、留学生、社会人)

【13】 財務指標>>帰属収入 歩留率は悪化傾向に有り、学生の質低下

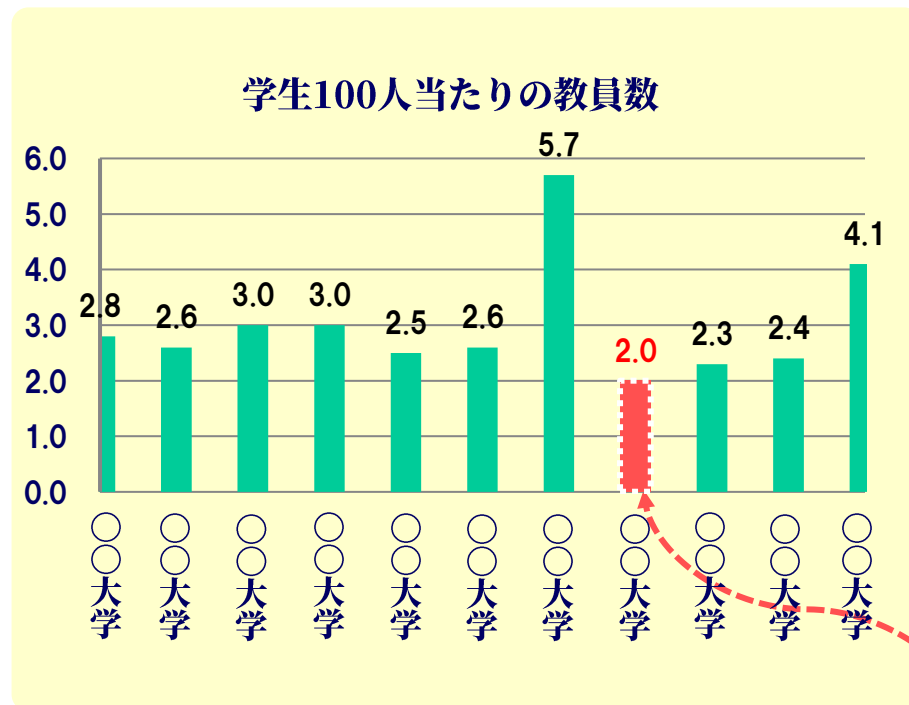
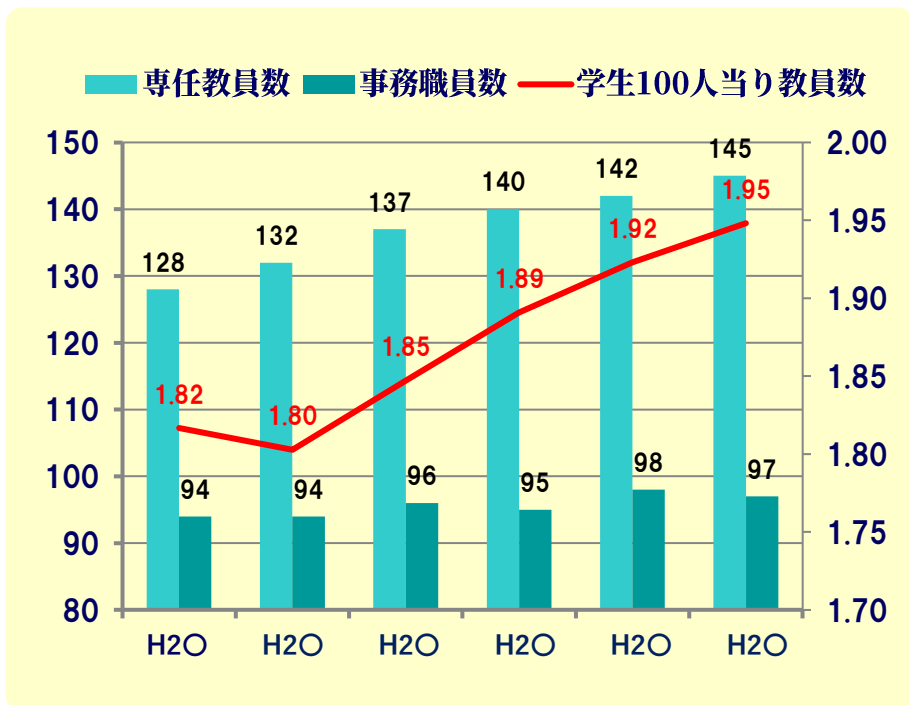
志願者倍率は向上傾向ではあるが学生の質（学士力）の実態は・・・？



$$\text{歩留率} = \frac{\text{入学者数}}{\text{合格者数}}$$

【15】財務指標>>消費支出

人件費の増加は教員数の増加、事務職員数は横ばい
他大学と比べても、まだ、教員数は少ない



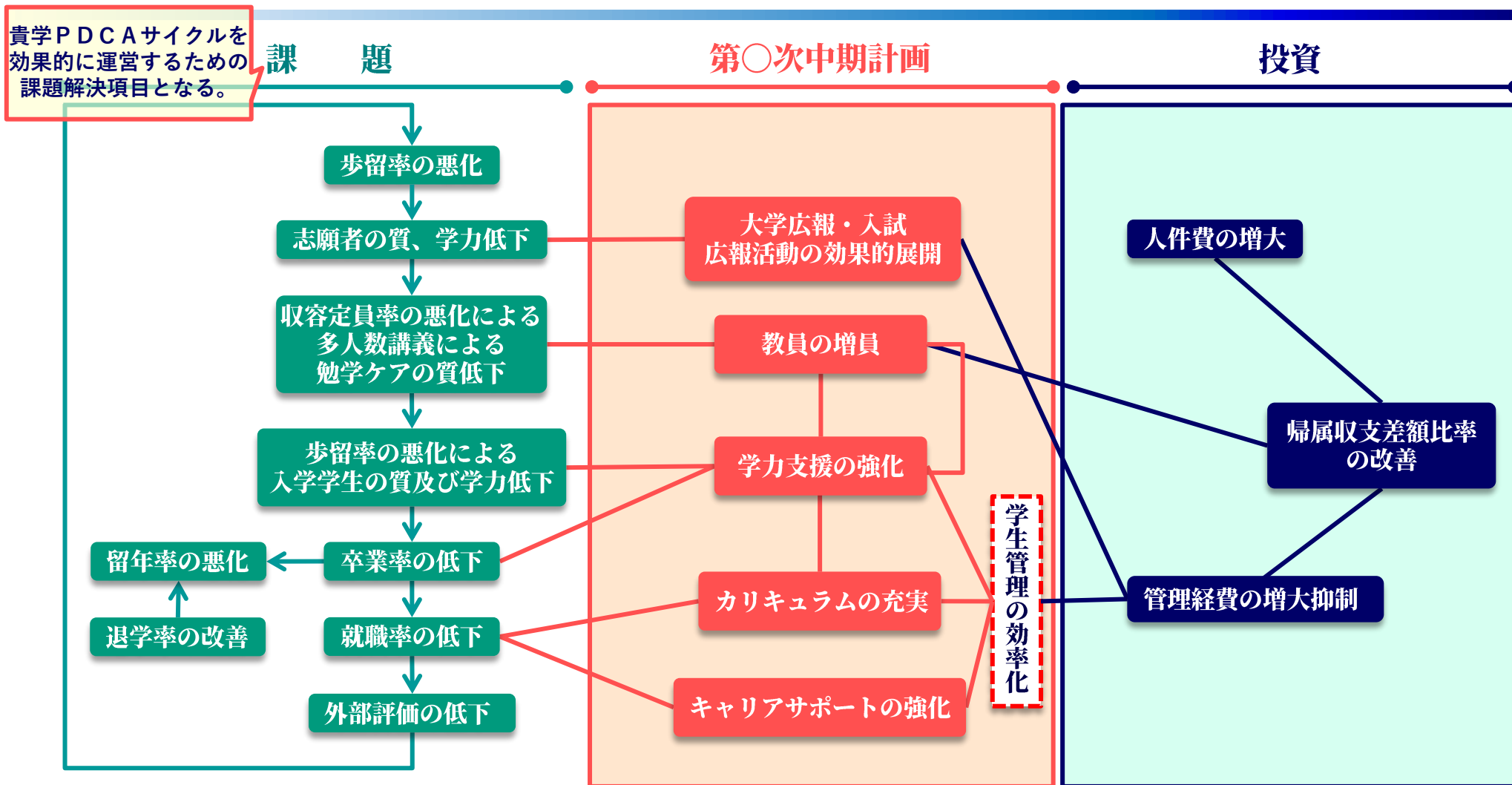
比較検討する競合校の選定要件について

1. 本学経営における戦略的な視点での競合校の選定が必要例)

- ・ 偏差値ランク (上位校を目標)
- ・ 地域性 (関西圏：重点地域)
- ・ 志望者 (女子学生、留学生、社会人)

【17】 対応策

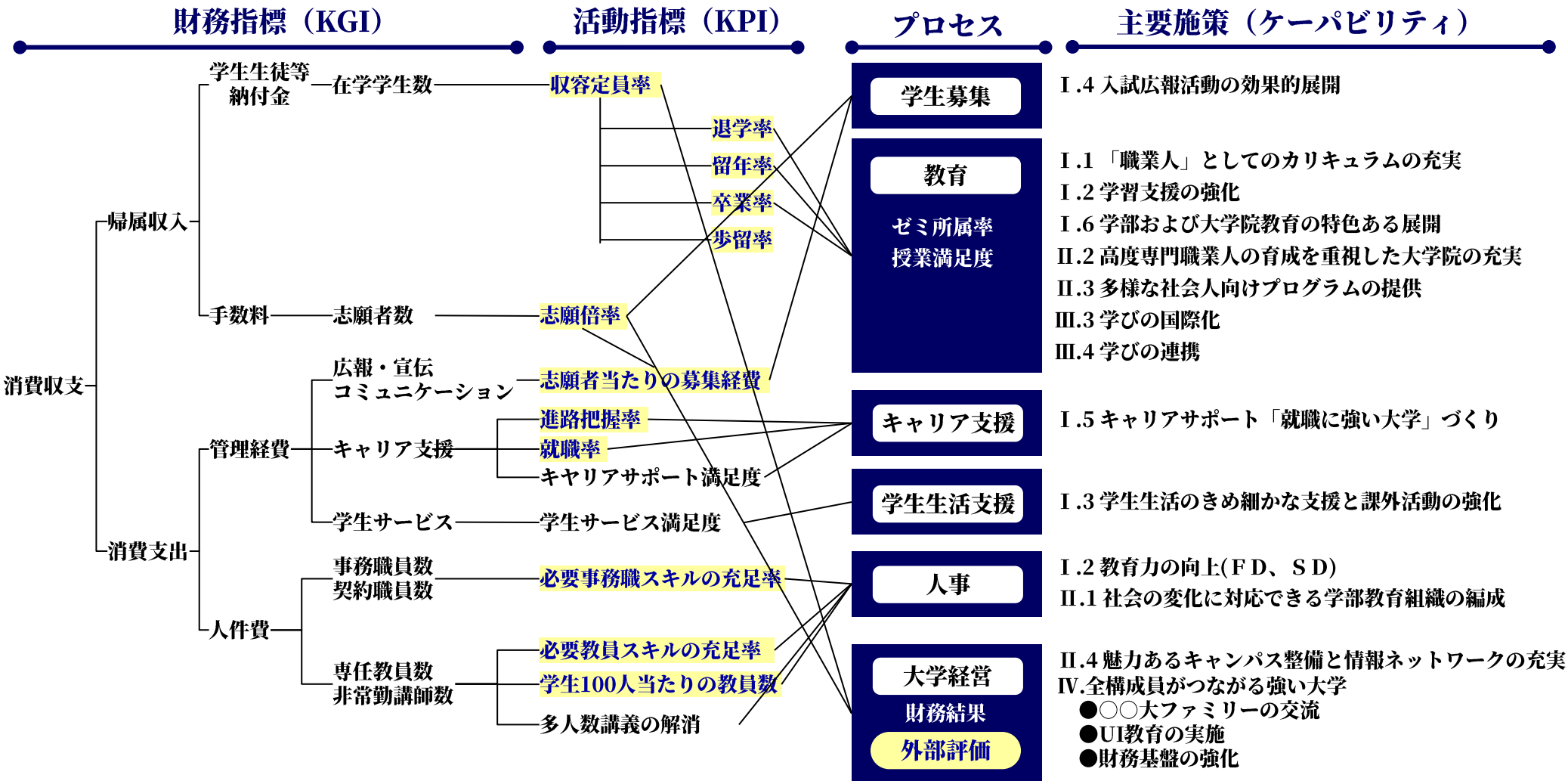
第3次中期計画を成功裏に達成する事



貴学PDCAサイクルを効果的に運営するための重要な活動指標となる。

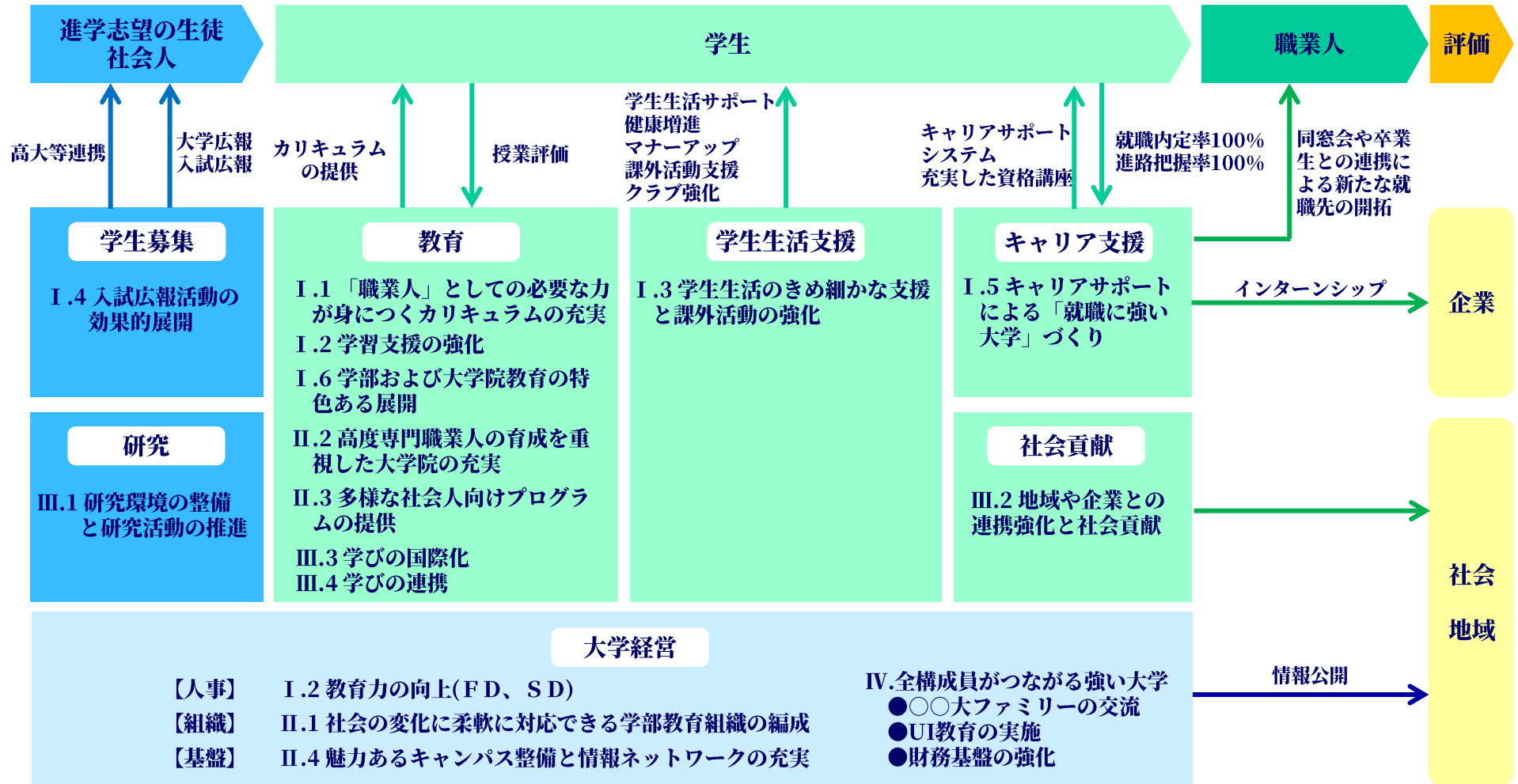
【18】 第〇次中期計画が成功する為の要件

① 計画の進捗と成果に定量化目標 (KGI, KPI) を設定している



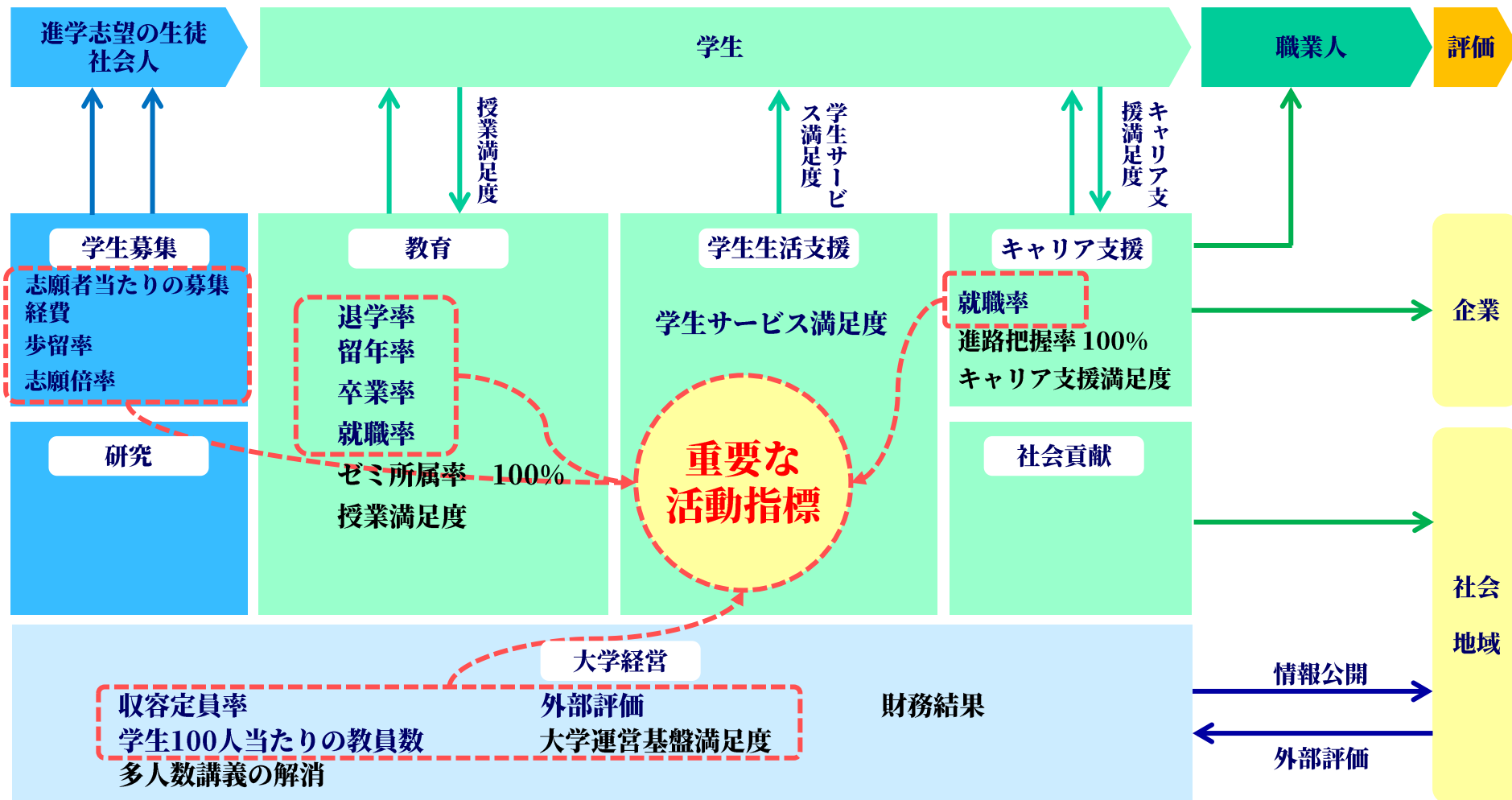
【18】 第〇次中期計画が成功する為の要件

② 施策を実行できるプロセスになっている



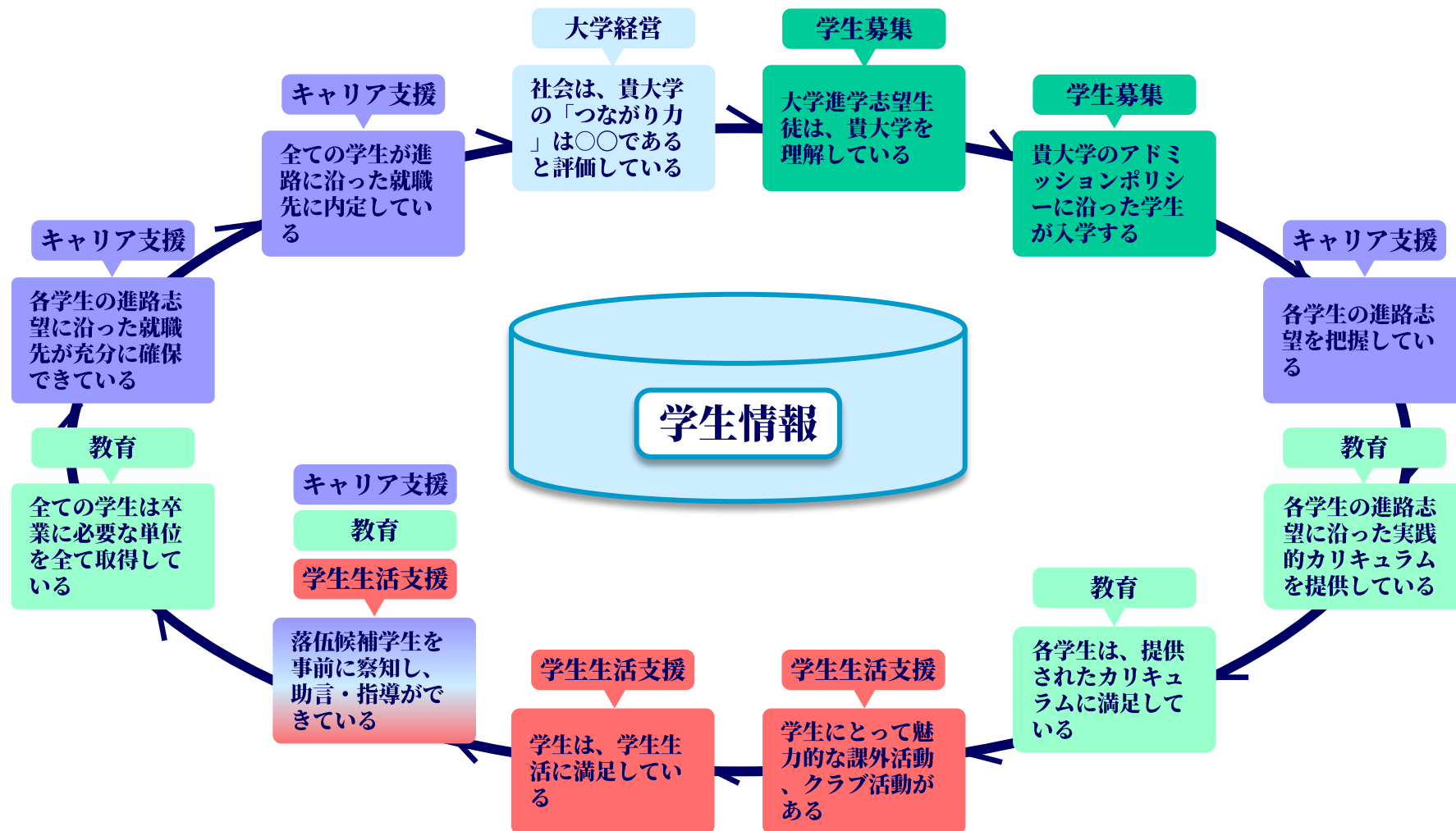
【18】第○次中期計画が成功する為の要件

- ③ 定量目標 (KGI, KPI) がプロセスの中で実績値として測定できる
- ④ 目標と実績を評価し、継続した改善ができています



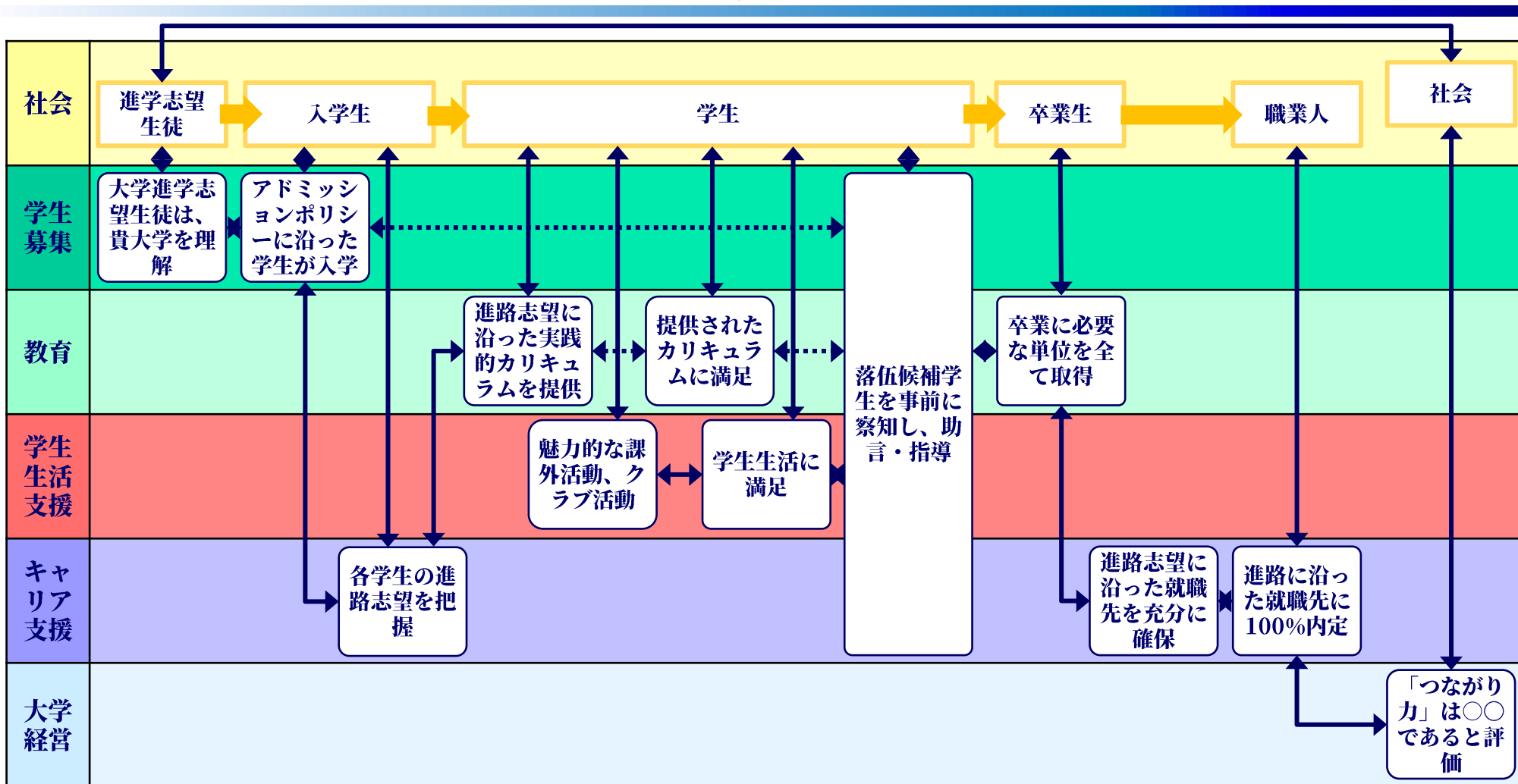
【18】 第〇次中期計画が成功する為の要件

⑤ 学生情報を一元管理している



【18】第〇次中期計画が成功する為の要件

- ⑥学生のライフサイクルを支援する首尾一貫したプロセスになっている
- ⑦役割・責任が明確で、必要な知識・スキルを持っている



【18】 第〇次中期計画が成功する為の要件 まとめ

- ①計画の進捗と成果に定量化目標（KGI,KPI）を設定している
- ②施策を実行できるプロセスになっている
- ③定量化目標（KGI,KPI）がプロセスの中で実績値として測定できる
- ④目標と実績を評価し、継続した改善ができています
- ⑤学生情報を一元管理している
- ⑥学生のライフサイクルを支援する首尾一貫したプロセスになっている
- ⑦役割・責任が明確で、必要な知識・スキルを持っている



P
D
C
A